

大船渡湾内観測結果(No.5)

“今月の話題”

湾内の水温は15～23℃台であり、例年並みとなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは湾内全域で高めでした。湾奥部の珊瑚島北側の水深10m以深で溶存酸素が低下していますので、今後の推移に注意して養殖管理を行って下さい。

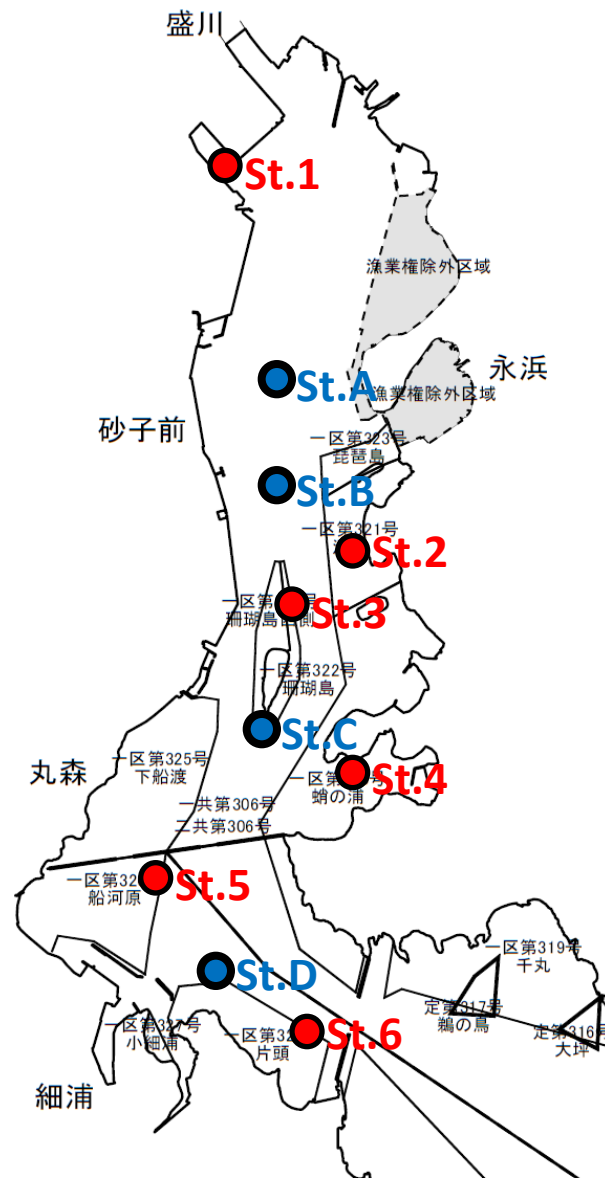
8月22日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は3.0～6.5mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-4.2～-1.1mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが20.6～21.4℃、水深10mが19.7～20.1℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-0.8～0.0℃、水深10mが-0.1～+0.6℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成29年8月22日					
観測時刻		11:44	12:02	11:23	11:07	10:52	10:35
天候		晴					
気温(°C)		25.1					
風向		SE					
風力		1					
水深(m)		8.3	23.9	26.3	18.6	25.3	36.8
透明度(m)		3.0	6.5	4.5	5.5	4.5	5.5
水色		7	4	6	6	5	6
水温(°C)	表層0m	23.9	23.4	22.3	23.3	22.8	22.6
	水深2.5m	20.9	21.2	21.0	21.4	20.7	20.6
	水深10m	-	19.7	19.7	20.1	19.7	19.8
	海底上1m	20.2	16.2	15.8	17.2	16.2	15.5
塩分	表層0m	14.0	22.0	24.8	23.7	23.4	24.6
	水深2.5m	32.8	32.7	32.5	32.5	31.9	32.6
	水深10m	-	33.4	33.4	33.4	33.4	33.3
	海底上1m	33.3	33.8	33.8	33.7	33.8	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	122.9	148.2	157.9	152.8	147.5	130.0
	水深2.5m	100.1	92.4	100.7	91.4	112.7	102.8
	水深10m	-	76.9	77.0	83.5	93.5	98.6
	海底上1m	67.2	72.5	58.3	75.9	83.6	93.6
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	4.4	2.8	2.7	4.2	3.6	2.6
	水深2.5m	4.6	1.8	1.9	1.9	2.0	1.7
	水深10m	-	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0
	海底上1m	0.9	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

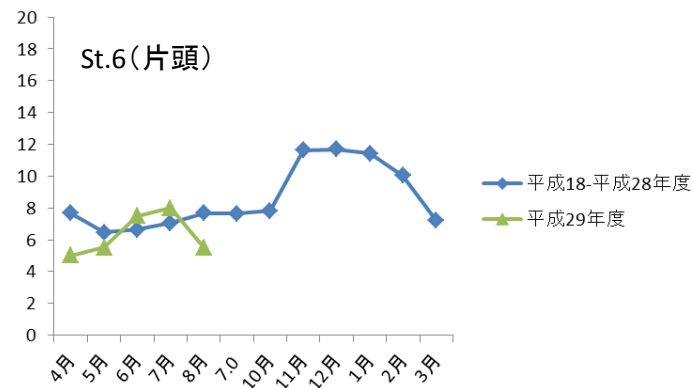
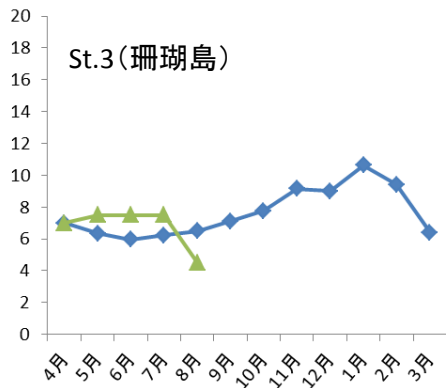
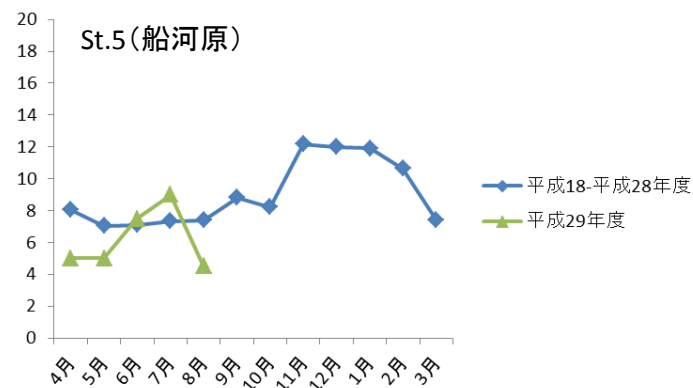
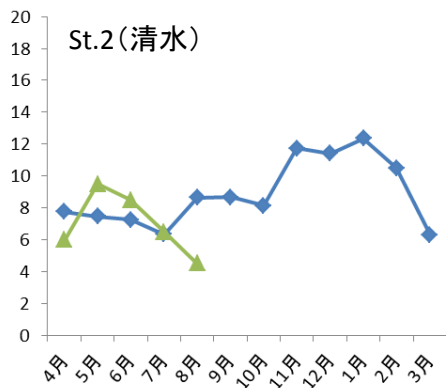
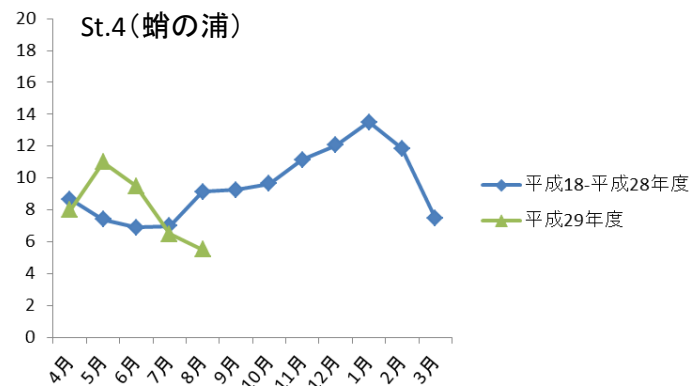
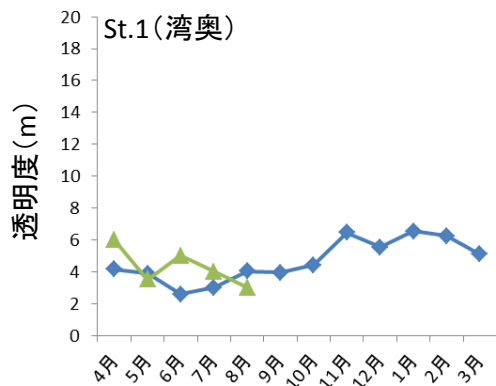


図2 透明度の推移

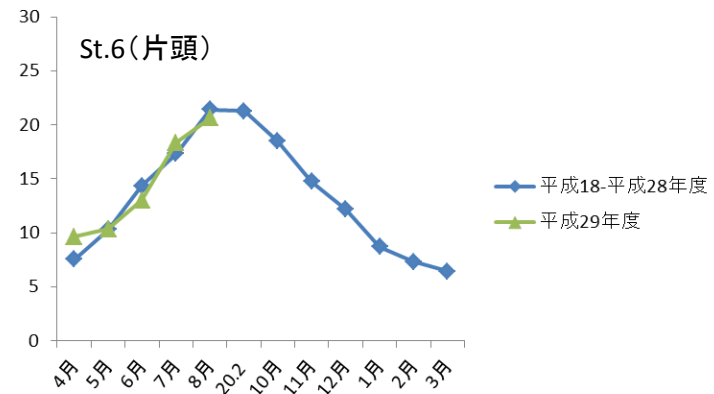
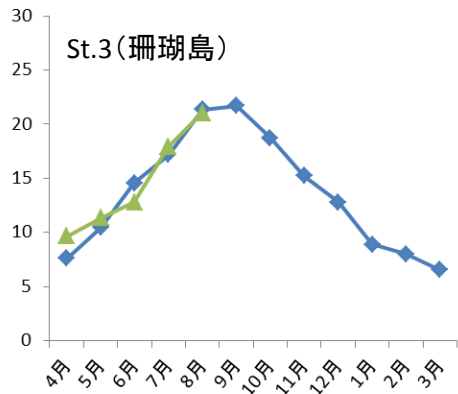
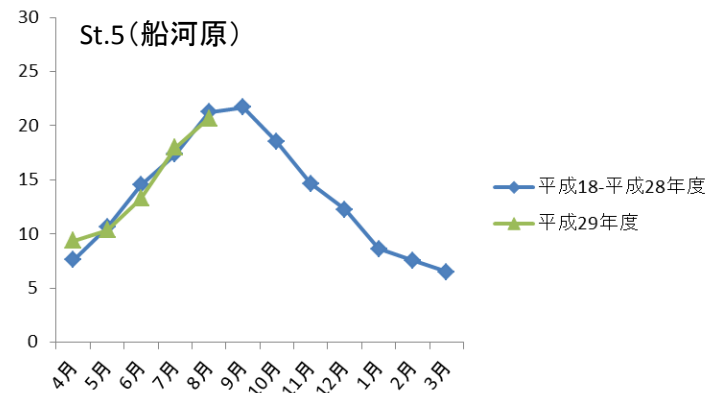
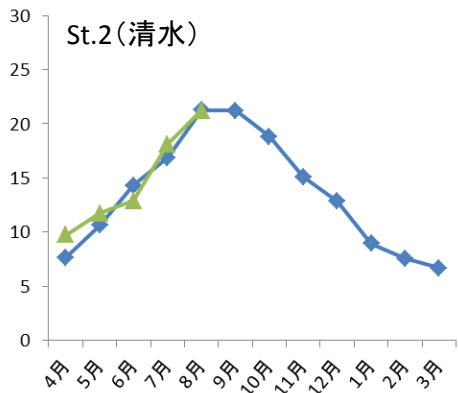
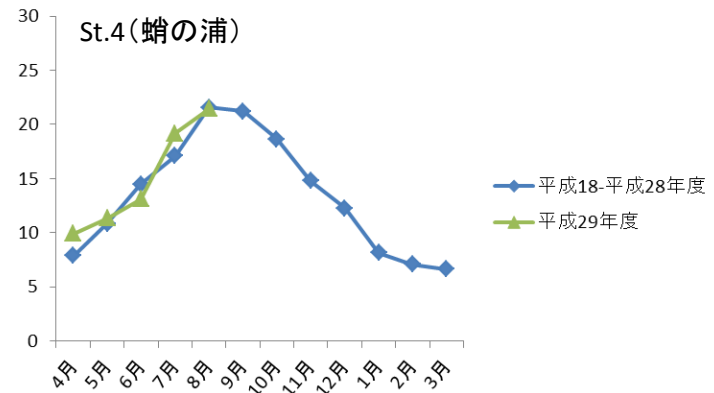
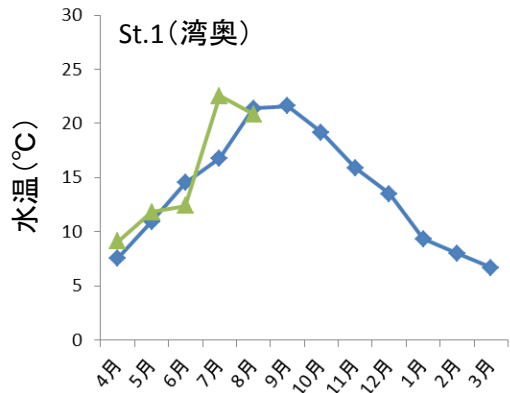


図3 水深2.5mの水温の推移

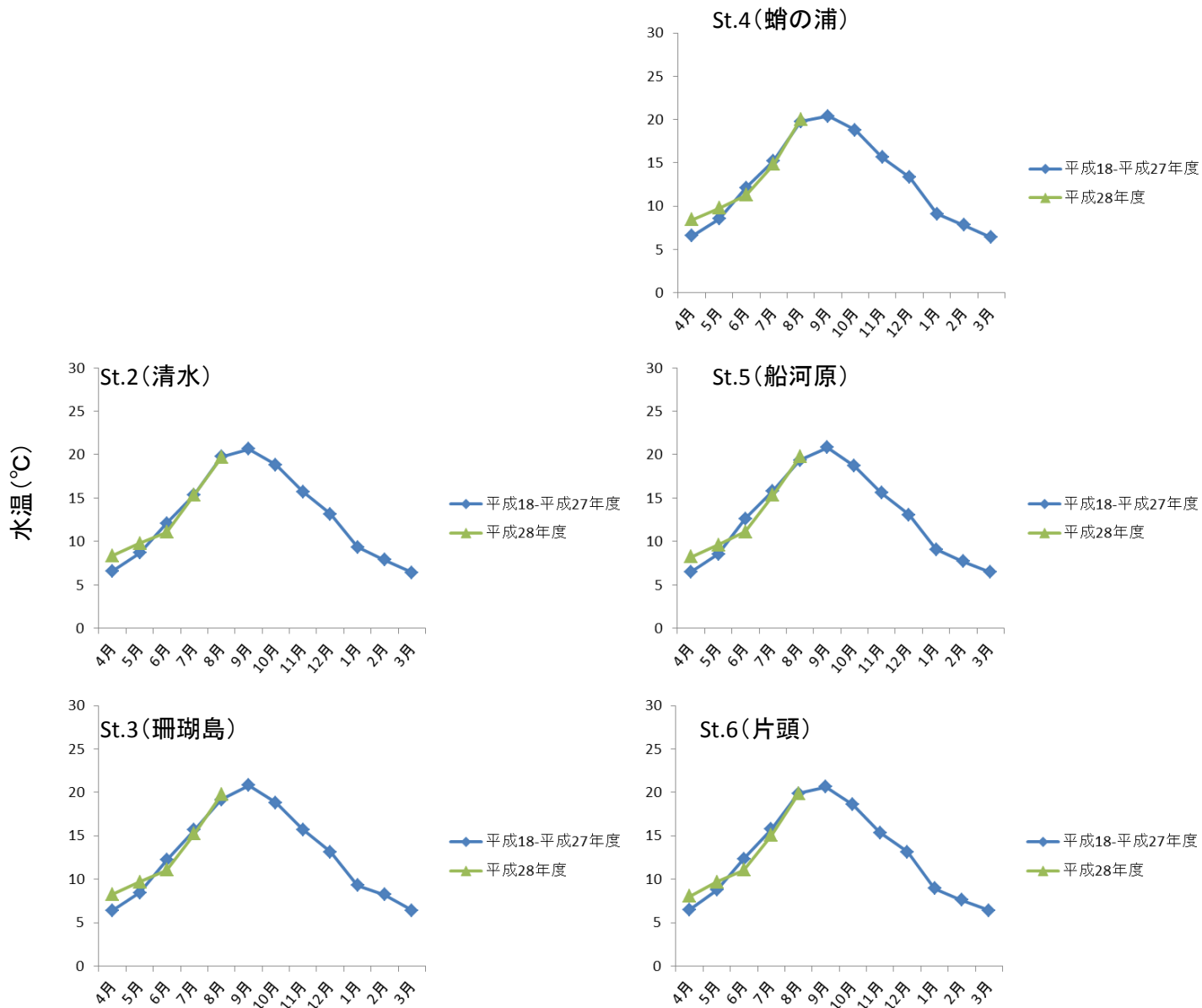
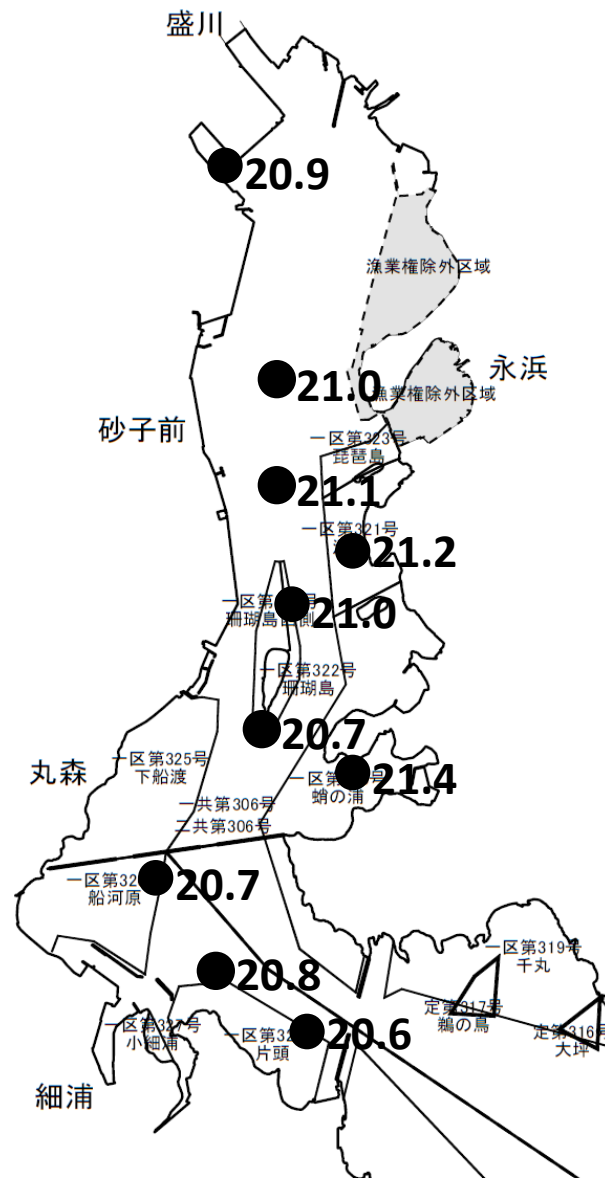


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

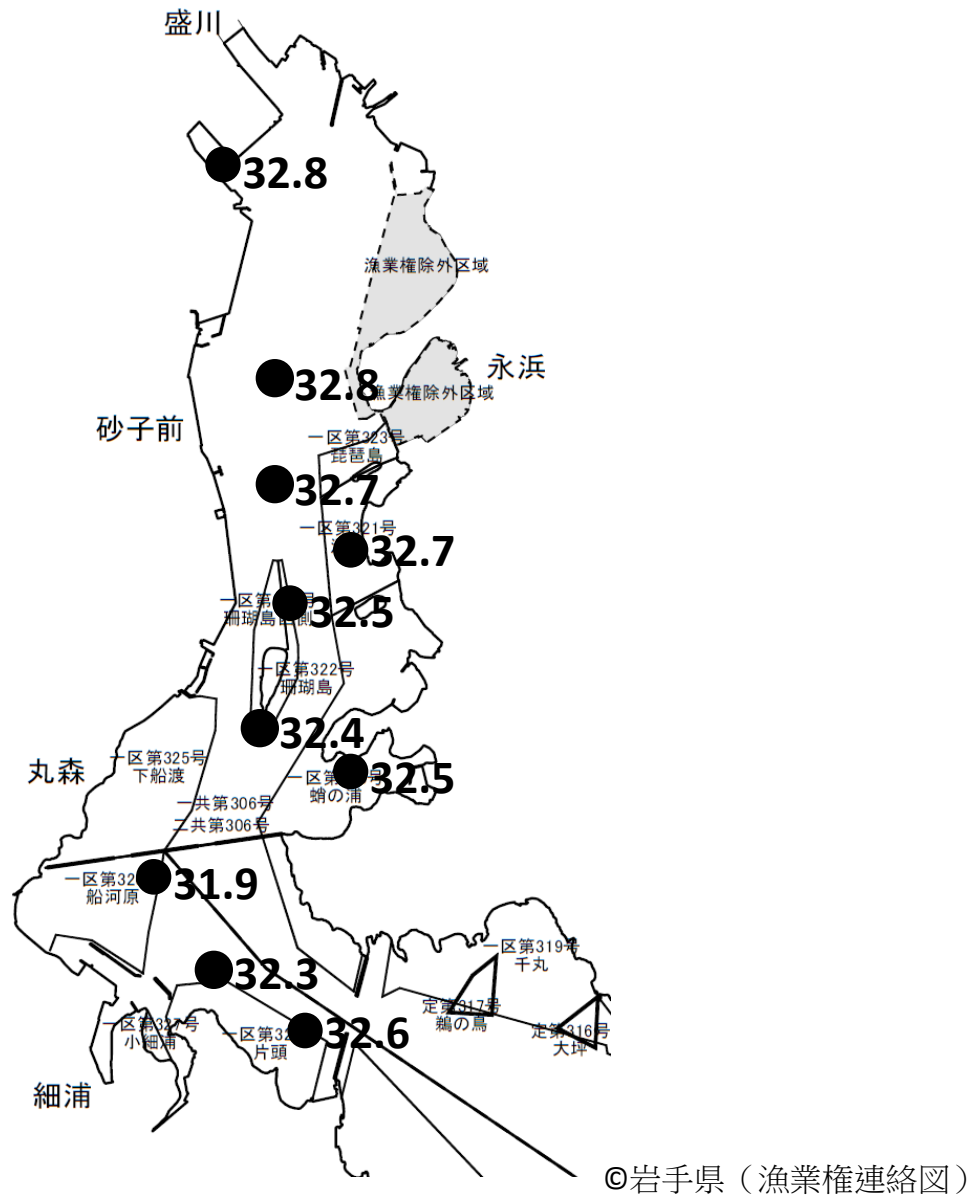


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

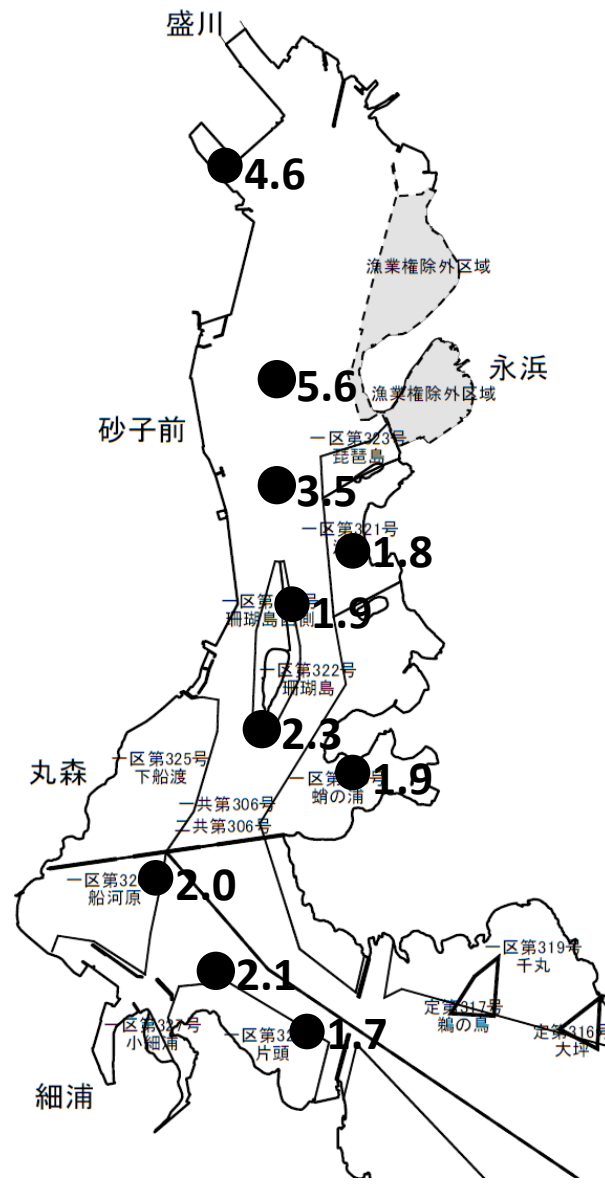


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。